

## 平成27年度 第3回学校評議員会会議録

### 1 実施日・実施時間

平成28年2月16日（火） 14:00～15:20

### 2 参加者

学校評議員3名 山坂 勇、成安仲儀、河野陽一  
三重総合高校久住校7名 校長、副校長、事務長、教務主任、生徒指主任、  
進路指導主任、寮務主任

### 3 実施内容

(1) 学校紹介ビデオ 14:00～14:10

(2) 協議 (14:10～15:20)

- ① 学校長あいさつ
- ② 学校現状説明等
- ③ 質疑応答・意見交換

### 4 質疑応答・意見交換の内容等

#### (1) 学校長あいさつ

学校評議員の方には、平成26年度と平成27年度で久住校がどのように変化してきているか具体的に意見を述べていただきたい。本来学校としてあるべき姿として何ができるか、久住校としての役割が何かを考えていかなければならない。また、地域連携として竹田市との係わりについてももっと密接にしていく必要があると考えている。

また、久住校は単独の農業科であり高校教育課からも大きく注目されている。さらに本校と久住校の農業科のめざす方向性は異なっており、久住校の農業科については地域との連携をしっかりとやりながら農業に係わる教育を生徒に実践し、担い手育成にも力を入れていく必要があると考えている。今からは、地域の中学校の進路希望先となりうるための久住校になる必要があると考えている。

#### (2) 協議他での質問・意見等

(評議員)

- ・生徒数について、現在の人数は当初と比べ少なくなっているがどうしてやめたのか。

(学 校)

- ・中学校時より不登校傾向の生徒が入学後不登校となり学校に登校できない生徒や生徒指導（生活面での問題）に係わる問題行動でどうしても久住校になじめなかった生徒がでて進路変更となってしまった。

(評議員)

- ・学校の実態把握はまだ十分できていないが、農村、地域の担い手育成は現在急務としており農業後継者の人材が不足している。久住校は農業教育の唯一の学校として地域のリーダーの育成、周りから関心度が高まる教育の取り組みをお願いしたい。

(評議員)

- ・インターンシップを実施しているが農業に対する生徒の関心度はどうか。また、生徒のアンケート結果はどのようになっているか。

(学 校)

- ・いろいろな農業法人でインターンシップをしているが、農作業だけではなく販売方法等いろいろな内容での指導をしてもらっており生徒は興味を持って取り組んでいる。
- また、担い手育成は、非農家の生徒が多いなか、農業大学校に水田コース5名、果樹コース2名、野菜コース1名、久住高原牧場1名、プロSPA1名と農業関係の進路となっている。

(校 長)

- ・インターンシップを起爆剤として、希望がある「仕掛け」をしっかりとやって生徒がでていくようにすることが大切である。

(評議員)

- ・久住地域には、夢のある農業法人が多くある。久住校として、地域との密着ができるのではないかな。また、地域の農業人との交流もしやすくのるのではないかな。活用をしっかりとやってもらいたい。

(校 長)

- ・学校評議員と学校のこの間の差が縮まることが大切である。地域の方からの声を聞き、地域の声を「期待の声」として受け止め、これからも頑張ることが大切である。学校でできないことがあれば、地域に協力してもらうことが大切である。

(評議員)

- ・全国から人が集まる学校になってもらいたい。そのために何が必要か。その形を作っていく上で何が必要か。

(校 長)

- ・寮の問題も抱えているが、地域との連携をしっかりとやることや久住地域の資源を活かす方法を考えていかなければならない。

(評議員)

- ・久住校の農場施設を時間があればじっくり見せてもらいたい。ハウス等実態についてこの目で見てみたい。

(評議員)

- ・寮教育や学校教育などがあるが、地元の生徒をしっかりと育ててほしい。また、中学校の生徒の中には、夢を持って農業を目指している生徒もおり久住校で本物の農業を学びたいと思っている。地域の子どもたちの望みをかなえてやる必要がある。いかに地元の子どもたちを久住校によびよせられるか。その点をしっかりと考えて取り組んでほしい。

(評議員)

- ・放牧場の柵の周辺であるが、野焼きの飛び火で学校の方が被害をうけて、片付け等がそのままになっているが早めに対応お願いしたい。見た目が非常に悪い。

(学 校)

- ・関係者と話をして、すぐ対応をしてきたい。

(評議員)

- ・ジビエの件であるが、今回大変は反響があり久住校の宣伝効果も非常にあった。今後の方向性についてどのように考えているか。

(学 校)

- ・今回は3年生4名、1年生2名のチームで参加したが、企業との絡みもありまだ未定である。

(評議員)

- ・家に帰っても宿題をやるようなそぶりがない。教科書は持ち帰っている様子ではないが。

(学 校)

- ・プリント等の配布はしているがその点については不十分ところがある。しっかり検討したい。

(評議員)

- ・和食文化が世界でもはやっている。農業教育の中で久住地域の特色を活かせば、循環型農業が大切と考える。衣食住の大切な部分を久住校の生徒に是非教えていってもらいたい。安心・安全の文化や和の心をもった心の教育をお願いしたい。

## 5 学校評議委員会のまとめ等

- ・学校評議員と学校の差をしっかり縮め地域と連携を深め同一方向ですすむことが非常に大切である。3名全員の参加をいただき、いろいろな意見を戴いたことに感謝したい。
- ・地域の声を素直に聞く耳を持ち、積極的な意見をいろんな角度からいただいたことを今後を活かしていくことが大切である。
- ・久住校の発展のために、本校教職員が一致団結、協力して生徒が夢をもって活動できるために頑張りたい。